

第33回 秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会  
開催要項

1. 名 称 : 第33回 秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会
2. 主 催 : 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主 管 : 神奈川県アイスホッケー連盟 普及委員会
4. 後援協力 : 横浜銀行アイスアリーナ
5. 会 期 : 2021年11月4日(木)～11月28日(日)
6. 会 場 : 横浜銀行アイスアリーナ
7. 参加資格 : 神奈川県アイスホッケー連盟に2021年度登録をしている小学生チームと中学生チーム及び選手と役員
8. 参加チーム : **【小学校高学年の部 4チーム】**  
新横浜ジュニア、ヨコハマスターズ、アイリズ、  
リトルペンギンズ・ブルーベアーズ合同チーム  
**【中学生の部 4チーム】**  
新横浜ジュニア、ヨコハマスターズ、アイリズ  
リトルペンギンズ・ブルーベアーズ合同チーム
9. 参加申込 : 2021年10月24日までに、所定の書式において選手登録を完了させる事。
10. 参加費 : クラス毎に別途設定した参加費を下記口座へ11月2日までに振り込む事。  
なお期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めない  
  
<振込先> 横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936  
神奈川県アイスホッケー連盟 会計 長谷川 宜彦
11. 競技規則 : 下記ローカル・ルールを除いて、原則 IIHF 国際競技規則に基づく  
\*今シーズンは、原則 日ア連「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」  
に準ずる。 [rule\\_20210906\\_160049.pdf \(jihf.or.jp\)](http://rule_20210906_160049.pdf)

補助規則 (ローカル・ルール)

- a. 出場最少人数は、試合開始整列時に名の GK と 5 名のプレーヤー、役員 1 名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄とみなし不戦敗(スコアは 0-1)とする。また試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数(3名のプレーヤー)をリンク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合放棄とする。
- b. プレーヤーは、全員フルフェイスマスク、マウスガード、及びネックガードを完全着用する。
- c. ゴールキーパーはネックガードを着用し、パック及びスティックが貫通しないマスクを着用する。
- d. ヘルメット、及びパンツの色はチームで統一する。(GKのヘルメットは除く)
- e. 合同チームでユニフォームが異なる場合には、ベストを着用する。
- f. 頭髪はヘルメットの中に収めるか、ひとつにまとめてユニフォームの中に収めること。お守り等は、必ずユニフォーム(パンツ)の中に入れ、外に出さないようにする。
- g. ベンチは、トーナメント表の左側のチームが本部席より向って左側とし仮のホームとする。
- h. ホームの決定は、試合前のパックスで決定する。(仮ホームが表裏を選択する)

- i. 脳震盪の疑いをもたれた選手は、その試合に出場できない。
- j. 【感染症対策】大会2週間前および大会終了後2週間は、別紙「検温・問診チェックシート」を記入し、試合の都度チーム代表者が確認し、体温チェックをして、リンク指定書式に記入してオールメンバー表と共に提出する。
- k. 【感染症対策】原則、着替えて集合し、リンク駐車場にて車内で抗原検査を行い、陰性者のみリンクに入場できる。陽性者はチーム責任者に電話連絡の上、速やかに退出する。
- l. 【感染症対策】競技中以外は必ずマスクを着用し、間隔をあげ、大声を出さない。
- m. 【感染症対策】選手ベンチ内では着席し、大声を出さない。うがい、つば吐きをしない。チーム役員は選手ベンチ内でもマスク着用し、指示を出すときもマスクをずらしてはならない。

12. 競技時間 :

【高学年】練習3分、各ピリオドロス込み20分、インターバル3分で行う。

試合終了2分前からストップタイムとする。

※ 決勝戦のみ正味15分で行い、タイムアウト有とする。

※ 正味時間の試合で、10点差以上付いた場合は、次のフェイスオフからロス込時間とする。なお、一度ロス込になった場合は、その後の展開に関係なく試合終了時までロス込にて行う。

【中学生】練習3分、各ピリオド正味15分、インターバル3分で行う。

※ 決勝戦のみタイムアウト有とする。

※ロス込試合のペナルティータイムは、次にパックが落ちた時間から開始し、ペナルティータイム終了時に試合が中断している場合は、次のフェイスオフ後に氷上に戻れることとする。

13. 順位 :

【高学年】【中学生】トーナメント戦方式による。敗者も順位決定戦を行う。

- ① 決勝戦については、第3ピリオドを終了して同点の場合は、ただちに4 on 4の5分間の延長戦を行い、それでも決しない場合は、1名ずつのゲームウイニングショットを行う。
- ② 上記以外の試合は、第3ピリオド終了し同点の場合は、3名ずつのゲームウイニングショットを行う。それでも決しない場合は、1名ずつのサドンビクトリー方式のゲームウイニングショットを行う。

14. オフィシャル : (抗原検査対象)

- a. オフィシャル当番は、今大会に限り両チームからオフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者を小学生チーム2名ずつ(計4名)、中学生チーム3名ずつ(計6名)を派遣し、その任に当たり、責任持って終了させる。
- b. スコアボード操作、タイマー、アナウンス、記録を任務とし、小学生の試合はゴールジャッジを置かない。
- c. 中学生のみスコアシートを作成するが、その提出は試合翌日21:00までとし、試合終了後は選手とともに速やかに退出すること。

15. スーパーバイザー : (大会毎のSV規定)

- a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームにつき1名ずつ、スーパーバイザーを置く。
- b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
- c. スーパーバイザーは、普及委員会担当理事から1名派遣し、SVレポートに必ず試合結果を記録する。

16. 試合中の傷害 :

- a. 各チームで必ずスポーツ安全保険等傷害保険に加入すること。
- b. 試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出るこ

と。

- c. 傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。
- d. 選手・役員等の移動及び本大会における事故、負傷、盗難等については、本連盟は一切の責任を負わない。各チームが責任をもって予め対処すること。

17. その他 : 要綱に記載されていない不測の事態が発生した場合は、普及委員会にて別途協議をする。

18. 懲戒委員会 : 委員長 : 中島 透  
委員 : 佐々木 暁、伊藤 一、柏木 満、吉田 見登留